

令和7年（2025年）度
福島県多文化共生に係るアンケート調査報告書
日本人住民対象

令和8年2月
福島県生活環境部国際課

目次

	頁
【調査概要】	3
1 調査の目的	
2 調査対象	
3 調査方法	
4 調査期間	
5 アンケート調査項目	
6 アンケート調査配布数	
7 調査票回収数	
8 その他	
【調査結果】	4
I あなたのことについて (属性)	4
II 外国人との関わりについて	8
III 偏見・差別について	21
IV 外国人との共生社会について	24

【調査概要】

1 調査の目的

県内の外国人住民は増加傾向にあり、県民の1%以上の約100人に1人が外国人住民という状況にあります（R6.12末時点：外国人住民数19,650人、県人口に対する外国人住民の割合1.127%）。

こうした中、県では、『ふくしま国際施策推進プラン（令和3年12月改定）』（令和4年度（2022年度）～令和12年度（2030年度））において本県の国際施策に関する取組の方向性を定め、多文化共生社会の実現に向けて取り組んでいます。

本調査は、県民の状況や考え方等の実態等、県内における外国人住民を取り巻く状況や課題等を把握し、多文化共生施策の推進につなげることを目的として実施しました。

2 調査対象

県内に住む20歳以上の日本人住民

3 調査方法

無作為抽出した調査対象に郵送で通知し、オンラインにより回答を頂く。

4 調査期間

令和7年10月1日～10月31日

5 アンケート調査項目

外国人との関わり、差別や偏見、外国人との共生社会など

6 アンケート調査配布数

2,500件

7 調査票回収数

421件（回収率16.8%）

8 その他

（1）本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。

（2）百分率（%）の計算は回答者数nを分母とし、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。従って、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。

（3）複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。

（4）本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。

（5）「無回答」には判読不能を含む。

9 調査の受託者

公益財団法人 福島県国際交流協会

【調査結果】

I あなたのことについて（属性）

Q1 あなたが住んでいる市町村はどこですか。

（1）市町村別

○居住地は、県北が 29.7%（125 人）と最も多く、次いで、県中 27.6%（116 人）、いわき 12.8%（54 人）となっている。

ア 県北

市町村名	人数（人）
福島市	77
二本松市	10
伊達市	17
本宮市	9
その他	12
小計①	125
割合	29.7%

イ 県中

市町村名	人数（人）
郡山市	71
須賀川市	16
田村市	12
その他	17
小計②	116
割合	27.6%

ウ 県南

市町村名	人数（人）
白河市	23
西郷村	5
その他	11
小計③	39
割合	9.3%

エ 会津

市町村名	人数（人）
会津若松市	17
喜多方市	7
会津坂下町	6
会津美里町	5
その他	10
小計④	45
割合	10.7%

オ 南会津

市町村名	人数（人）
南会津町	5
その他	2
小計⑤	7
割合	1.7%

カ 相双

市町村名	人数（人）
南相馬市	17
広野町	6
その他	9
小計⑥	32
割合	7.6%

キ いわき

市町村名	人数（人）
いわき市	54
小計⑦	54
割合	12.8%

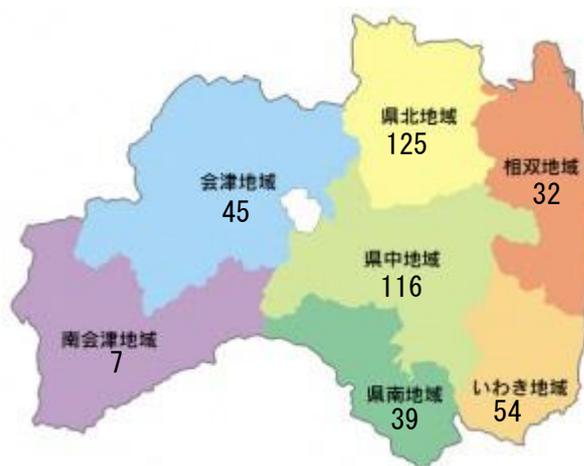
ク 無回答

	人数（人）
無回答	3
小計⑧	3
割合	0.7%

合計（小計①～⑧）

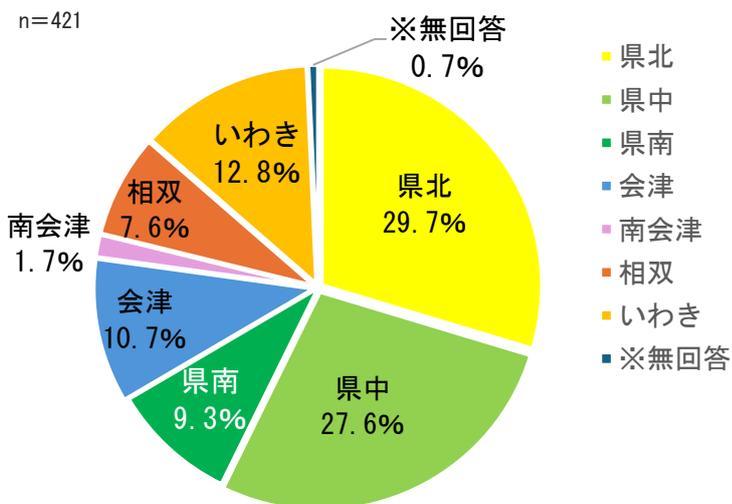
421

※回答者が5人以下の市町村は「その他」として集計



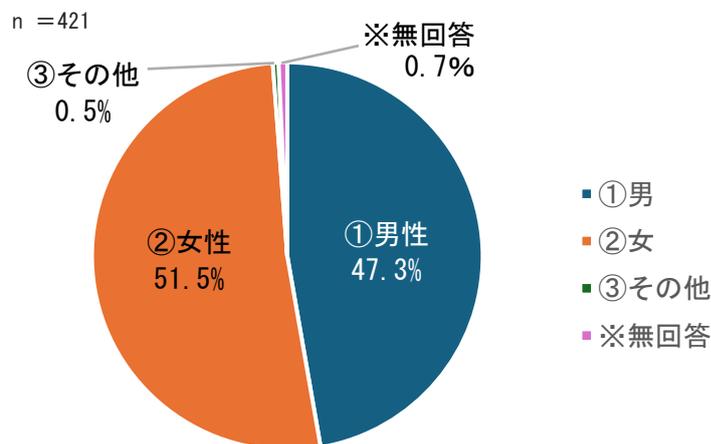
(2) 地域別

地域別	人数 (人)	割合 (%)
県北	125	29.7
県中	116	27.6
県南	39	9.3
会津	45	10.7
南会津	7	1.7
相双	32	7.6
いわき	54	12.8
※無回答	3	0.7



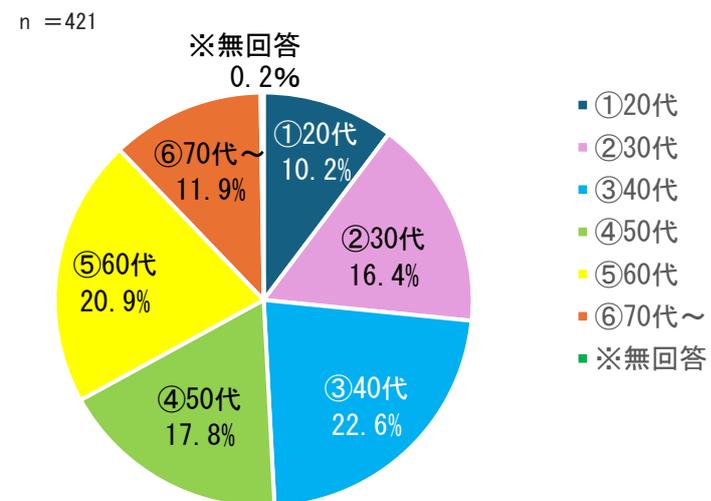
Q2 あなたの性別は次のどれですか。

性別	人数(人)	割合 (%)
①男性	199	47.3
②女性	217	51.5
③その他	2	0.5
※無回答	3	0.7



Q3 あなたの年代は次のどれですか。

年代別	人数(人)	割合 (%)
①20代	43	10.2
②30代	69	16.4
③40代	95	22.6
④50代	75	17.8
⑤60代	88	20.9
⑥70代~	50	11.9
※無回答	1	0.2



Q 4 あなたは「やさしい日本語」を知っていますか。

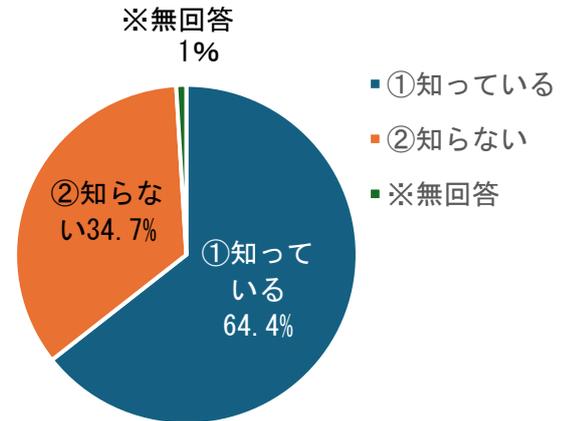
○「やさしい日本語」の認知度は64.4%（271人）となっている。

※やさしい日本語：難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のこと
 です（例：高台へ避難して下さい→「高い場所へ逃げてください」）

(1) 全体

n = 421

やさしい日本語	人数 (人)	割合 (%)
①知っている	271	64.4
②知らない	146	34.7
※無回答	4	1.0



(2) クロス集計

**① (Q 4 「やさしい日本語の認知度」
 × Q 1 「地域」)**

○県南地域の認知度が高い一方で、県北地域の認知度がやや低い結果となった。

上段：人数 下段：%	①知っている	②知らない	※無回答
県北 (n=125)	68 54.4%	55 44.0%	2 1.6%
県中 (n=116)	79 68.1%	37 31.9%	0 0.0%
県南 (n=39)	29 74.4%	10 25.6%	0 0.0%
会津 (n=45)	29 64.4%	16 35.6%	0 0.0%
南会津 (n=7)	5 71.4%	2 28.6%	0 0.0%
相双 (n=32)	22 68.8%	10 31.3%	0 0.0%
いわき (n=54)	38 70.4%	15 27.8%	1 1.9%
※無回答 (n=3)	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%
全体 (n=421)	271 64.4%	146 34.7%	4 1.0%

**② (Q 4 「やさしい日本語の認知度」
 × Q 3 「年代」)**

○幅広い世代に概ね認知されているが、20代の認知度が高くなっている。

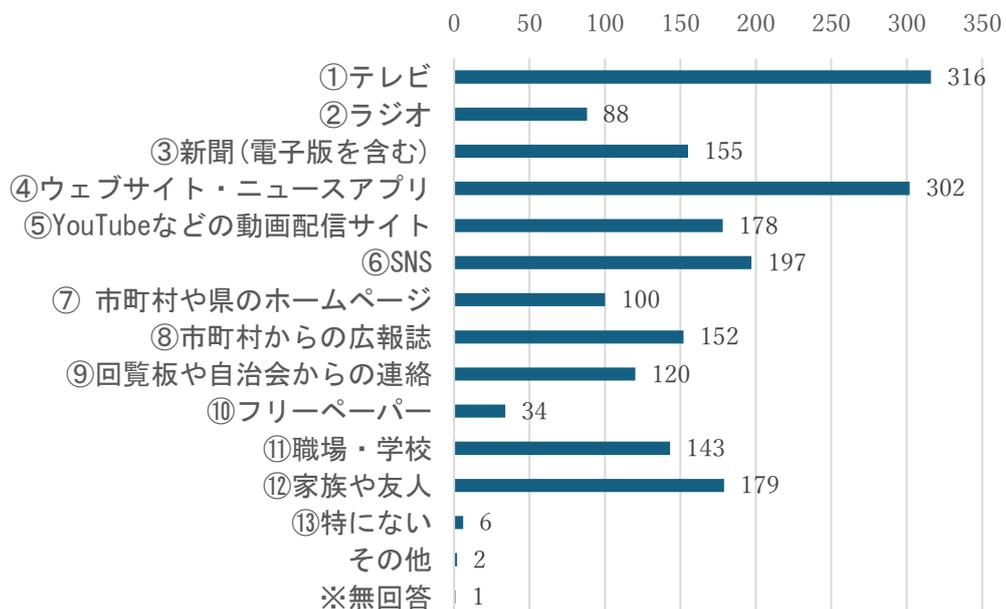
上段：人数 下段：%	①知っている	②知らない	※無回答
①20代 (n=43)	33 76.7%	10 23.3%	0 0.0%
②30代 (n=69)	46 66.7%	22 31.9%	1 1.4%
③40代 (n=95)	58 61.1%	37 38.9%	0 0.0%
④50代 (n=75)	50 66.7%	24 32.0%	1 1.3%
⑤60代 (n=88)	53 60.2%	35 39.8%	0 0.0%
⑥70代～ (n=50)	31 62.0%	18 36.0%	1 2.0%
※無回答 (n=1)	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
全体 (n=421)	271 64.4%	146 34.7%	4 1.0%

Q5 あなたは、日常生活に関する必要な情報をどこから得ていますか。
(あてはまるもの全てに○)

○「テレビ」が75.1%（316人）と最も多く、次いで「ウェブサイト・ニュースアプリ」71.7%（302人）、「SNS」46.8%（197人）、「家族や友人」42.5%（179人）、「YouTubeなどの動画配信サイト」42.3%（178人）となっている。

n=421

情報の取得先	人数（人）	割合（%）
①テレビ	316	75.1
②ラジオ	88	20.9
③新聞(電子版を含む)	155	36.8
④ウェブサイト・ニュースアプリ	302	71.7
⑤YouTubeなどの動画配信サイト	178	42.3
⑥SNS(Facebook・X・Instagram・LINEなど)	197	46.8
⑦市町村や県のホームページ	100	23.8
⑧市町村からの広報誌	152	36.1
⑨回覧板や自治会からの連絡	120	28.5
⑩フリーペーパー	34	8.1
⑪職場・学校	143	34.0
⑫家族や友人	179	42.5
⑬特にない	6	1.4
その他	2	0.5
※無回答	1	0.2



II 外国人との関わりについて

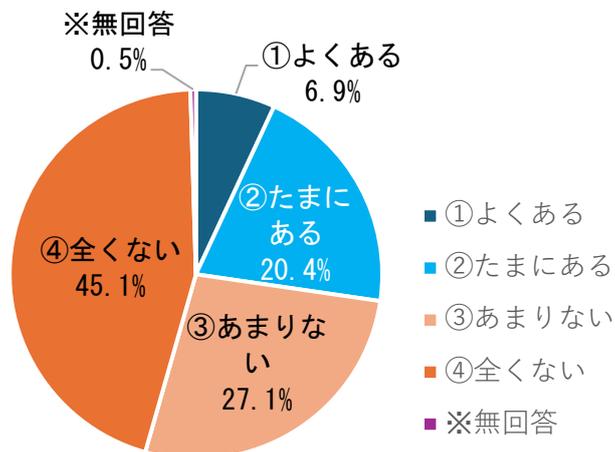
Q6 あなたは現在、普段の生活で外国人と交流する頻度はどのくらいありますか。

○交流が「全くない」が45.1%（190人）と最も多く、「あまりない」も含めると72.2%（304人）が《ない》となっている。

（1）全体

n = 421

交流の頻度	人数（人）	割合（%）
①よくある	29	6.9
②たまにある	86	20.4
③あまりない	114	27.1
④全くない	190	45.1
※無回答	2	0.5



（2）クロス集計

①（Q6「外国人との交流頻度」× Q1「地域」）

○全ての地域で、「あまりない」、「全くない」を合わせた《ない》が多くなっている。

上段：人数 下段：%	①よくある	②たまにある	③あまりない	④全くない	※無回答
県北 (n=125)	8 6.4%	20 16.0%	29 23.2%	67 53.6%	1 0.8%
県中 (n=116)	6 5.2%	24 20.7%	37 31.9%	49 42.2%	0 0.0%
県南 (n=39)	4 10.3%	11 28.2%	10 25.6%	14 35.9%	0 0.0%
会津 (n=45)	2 4.4%	11 24.4%	13 28.9%	19 42.2%	0 0.0%
南会津 (n=7)	1 14.3%	2 28.6%	3 42.9%	1 14.3%	0 0.0%
相双 (n=32)	0 0.0%	6 18.8%	9 28.1%	17 53.1%	0 0.0%
いわき (n=54)	7 13.0%	12 22.2%	13 24.1%	22 40.7%	0 0.0%
※無回答 (n=3)	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%
全体 (n=421)	29 6.9%	86 20.4%	114 27.1%	190 45.1%	2 0.5%

② (Q6「外国人との関わり」× Q3「年代」)

○全ての年代で「あまりない」「全くない」を合わせた《ない》が多くなっている。「よくある」、「たまにある」を合わせた《ある》は、20代が最も高く、70代以上が最も低くなっている。

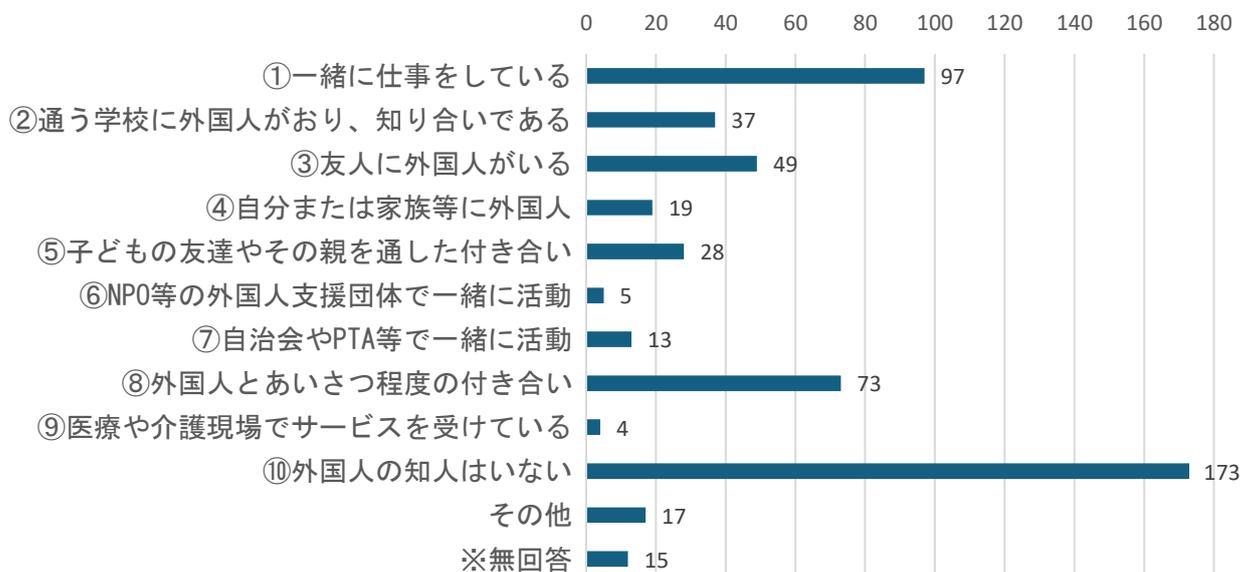
上段：人数 下段：%	①よくある	②たまにある	③あまりない	④全くない	※無回答
①20代 (n=43)	3 7.0%	12 27.9%	10 23.3%	18 41.9%	0 0.0%
②30代 (n=69)	5 7.2%	13 18.8%	17 24.6%	33 47.8%	1 1.4%
③40代 (n=95)	8 8.4%	17 17.9%	35 36.8%	35 36.8%	0 0.0%
④50代 (n=75)	7 9.3%	17 22.7%	21 28.0%	30 40.0%	0 0.0%
⑤60代 (n=88)	3 3.4%	20 22.7%	22 25.0%	43 48.9%	0 0.0%
⑥70代～ (n=50)	3 6.0%	7 14.0%	9 18.0%	31 62.0%	0 0.0%
※無回答 (n=1)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
全体 (n=421)	29 6.9%	86 20.4%	114 27.1%	190 45.1%	2 0.5%

**Q7 あなたは普段の生活で外国人との付き合いがあります(ありました)か。
(過去の経験も含め、あてはまるもの全てに○)**

○「外国人の知人はいないし、付き合いしたこともない」が41.1% (173人) となっている。次いで、「一緒に仕事をしている」23.0% (97人)、「外国人とあいさつ程度の付き合いはある」17.3% (73人) となっている。

n = 421

外国人との付き合い	人数 (人)	割合 (%)
①一緒に仕事をしている (していた)	97	23.0
②通う学校に外国人がおり、知り合いである (あった)	37	8.8
③友人に外国人がいる (いた)	49	11.6
④自分または家族・親族の配偶者・パートナーが外国人である (であった)	19	4.5
⑤子どもの友達やその親に外国人がおり、付き合いがある (あった)	28	6.7
⑥NPO等の外国人支援団体や国際交流団体と一緒に活動している (していた)	5	1.2
⑦その他、自治会やPTA等、地域のグループと一緒に活動している (していた)	13	3.1
⑧外国人とあいさつ程度の付き合いはある (あった)	73	17.3
⑨医療や介護現場でサービスを受けている (受けていた)	4	1.0
⑩外国人の知人はいないし、付き合いしたこともない	173	41.1
その他	17	4.0
※無回答	15	3.6



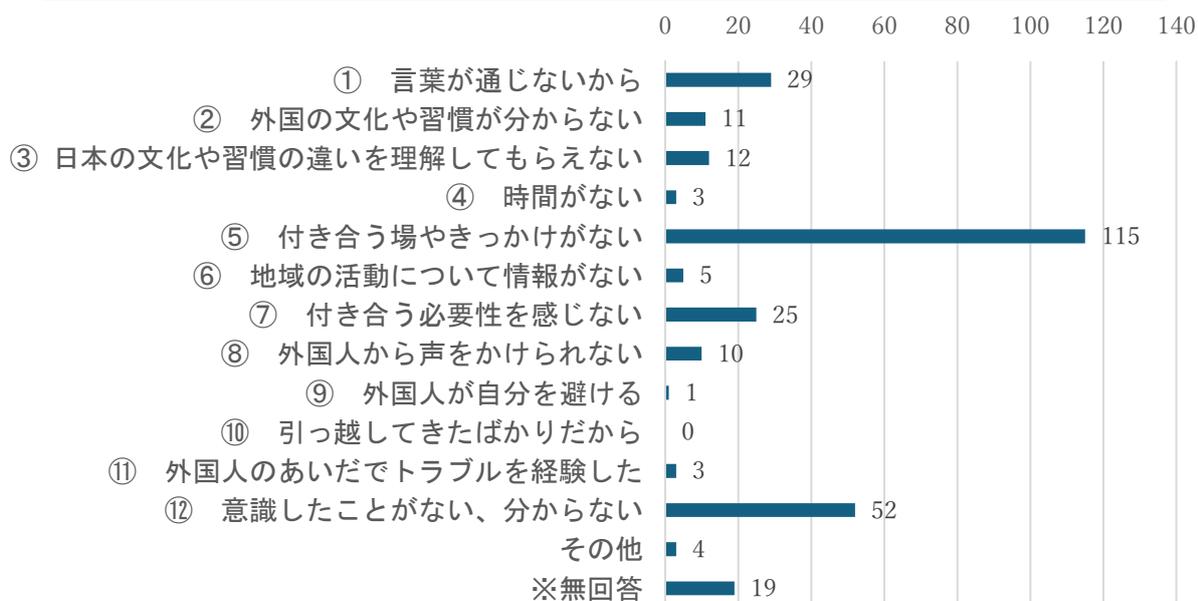
Q 8 あなたが普段の生活で外国人との付き合いがない理由は次のうちどれですか。(あてはまるもの全てに○)

【Q 7で「⑩外国人の知人はいないし、付き合いしたこともない」を選択された方】

○「付き合う場やきっかけがないから」が66.5%（115人）と最も多くなっている。

n = 173

外国人と付き合いがない理由	人数（人）	割合（%）
①言葉が通じないから	29	16.8
②外国の文化や習慣が分からないから	11	6.4
③日本の文化や習慣の違いを理解してもらえないから	12	6.9
④時間がないから	3	1.7
⑤付き合う場やきっかけがないから	115	66.5
⑥地域の活動について情報がないから	5	2.9
⑦付き合う必要性を感じないから	25	14.5
⑧外国人から声をかけられないから	10	5.8
⑨外国人が自分を避けるから	1	0.6
⑩引っ越してきたばかりだから	0	0.0
⑪外国人のあいだでトラブルを経験したから	3	1.7
⑫意識したことがない、分からない	52	30.1
その他	4	2.3
※無回答	19	11.0



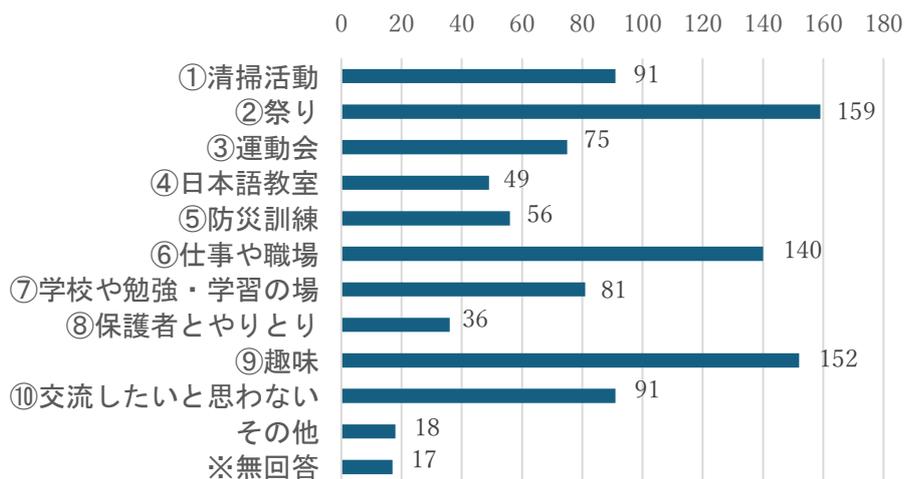
Q9 あなたは外国人と交流する場合、どのような内容なら交流してみたいと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

○「祭り」が37.8%（159人）と最も多く、日本文化を通じた交流への関心が高くなっている。次いで、「趣味を同じくする人たちのサークル活動」36.1%（152人）、「仕事や職場」33.3%（140人）となっており、趣味、就労など日常生活に身近な場面での交流希望が多くなっている。一方で、「交流したいと思わない」は21.6%（91人）となっている。

(1) 全体

n = 421

どのような内容で交流したいか	人数（人）	割合（%）
①清掃活動（地域のごみ拾いや環境美化など）	91	21.6
②祭り（夏祭り、七夕、お正月など）	159	37.8
③運動会（地域や学校のスポーツイベントなど）	75	17.8
④日本語教室	49	11.6
⑤防災訓練	56	13.3
⑥仕事や職場	140	33.3
⑦学校や勉強・学習の場	81	19.2
⑧子どもを通して保護者とやりとり	36	8.6
⑨趣味を同じくする人たちのサークル活動	152	36.1
⑩交流したいと思わない	91	21.6
その他	18	4.3
※無回答	17	4.0



(2) クロス集計

(Q9「どのような交流をしたいか」× Q3「年代」)

○20代から40代、および60代では「祭り」を通じた交流を希望する割合が最も高く、50代と70代以上では「趣味」を通じた交流を希望する割合が最も高くなっている。一方で、「交流したいと思わない」とする回答は、若年層で比較的高い傾向となっている。

上段：人数 下段：%	①清掃	②祭り	③運動会	④日本語教室	⑤防災	⑥仕事	⑦学校	⑧保護者同士	⑨趣味	⑩交流なし	その他	※無回答
①20代 (n=43)	7 8.6%	15 18.5%	4 4.9%	6 7.4%	1 1.2%	10 12.3%	7 8.6%	1 1.2%	12 14.8%	14 17.3%	3 3.7%	1 1.2%
②30代 (n=69)	12 8.0%	24 16.0%	7 4.7%	9 6.0%	8 5.3%	22 14.7%	13 8.7%	7 4.7%	22 14.7%	21 14.0%	3 2.0%	2 1.3%
③40代 (n=95)	16 6.2%	39 15.2%	25 9.7%	13 5.1%	11 4.3%	45 17.5%	35 13.6%	15 5.8%	38 14.8%	17 6.6%	2 0.8%	1 0.4%
④50代 (n=75)	22 11.7%	28 14.9%	18 9.6%	7 3.7%	14 7.4%	29 15.4%	9 4.8%	8 4.3%	32 17.0%	15 8.0%	5 2.7%	1 0.5%
⑤60代 (n=88)	28 13.7%	41 20.0%	14 6.8%	11 5.4%	18 8.8%	26 12.7%	14 6.8%	4 2.0%	32 15.6%	12 5.9%	3 1.5%	2 1.0%
⑥70代～ (n=50)	6 7.2%	12 14.5%	7 8.4%	3 3.6%	4 4.8%	8 9.6%	3 3.6%	1 1.2%	16 19.3%	12 14.5%	2 2.4%	9 10.8%
※無回答 (n=1)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
全体 (n=421)	91 9.4%	159 16.5%	75 7.8%	49 5.1%	56 5.8%	140 14.5%	81 8.4%	36 3.7%	152 15.8%	91 9.4%	18 1.9%	17 1.8%

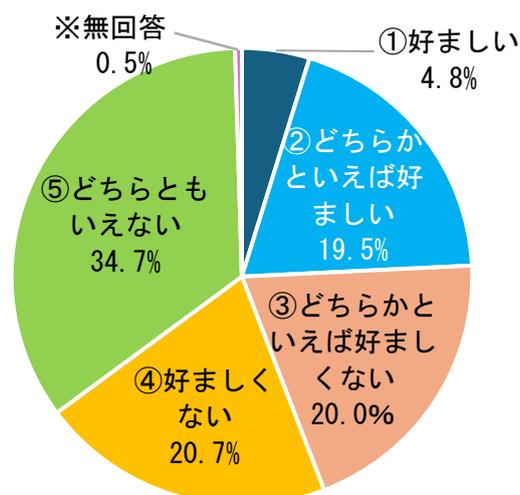
Q10 あなたのお住まいの地域に外国人が増えることについてどう思いますか。

○「どちらともいえない」が34.7% (146人) と最も多くなっている。「好ましい」と「どちらかといえば好ましい」を合わせた《好ましい》が24.3% (102人) となっており、「どちらかといえば好ましくない」、「好ましくない」を合わせた《好ましくない》が40.7% (171人) となっている。

(1) 全体

n = 421

外国人が増えることについて	人数 (人)	割合 (%)
①好ましい	20	4.8
②どちらかといえば好ましい	82	19.5
③どちらかといえば好ましくない	84	20.0
④好ましくない	87	20.7
⑤どちらともいえない	146	34.7
※無回答	2	0.5



- ①好ましい
- ②どちらかといえば好ましい
- ③どちらかといえば好ましくない
- ④好ましくない
- ⑤どちらともいえない
- ※無回答

(2) クロス集計

① (Q10「地域に外国人が増えることについて」× Q1「地域」)

○県北、県中、県南では、「どちらかといえば好ましくない」、「好ましくない」を合わせた《好ましくない》が多くなっている。

上段：人数 下段：%	①好ましい	②どちらか といえば好 ましい	③どちらか といえば好 ましくない	④好ましく ない	⑤どちらと もいえない	※無回答
県北 (n=125)	3 2.4%	22 17.6%	23 18.4%	36 28.8%	41 32.8%	0 0.0%
県中 (n=116)	8 6.9%	24 20.7%	27 23.3%	23 19.8%	34 29.3%	0 0.0%
県南 (n=39)	2 5.1%	7 17.9%	10 25.6%	8 20.5%	12 30.8%	0 0.0%
会津 (n=45)	1 2.2%	11 24.4%	10 22.2%	7 15.6%	16 35.6%	0 0.0%
南会津 (n=7)	0 0.0%	3 42.9%	1 14.3%	0 0.0%	3 42.9%	0 0.0%
相双 (n=32)	3 9.4%	4 12.5%	5 15.6%	4 12.5%	15 46.9%	1 3.1%
いわき (n=54)	3 5.6%	11 20.4%	8 14.8%	8 14.8%	24 44.4%	0 0.0%
※無回答 (n=3)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%
全体 (n=421)	20 4.8%	82 19.5%	84 20.0%	87 20.7%	146 34.7%	2 0.5%

② (Q10「地域に外国人が増えることについて」× Q3「年代」)

○全ての年代で「どちらともいえない」が多くなっている。特に、20代、30代では「好ましくない」、「どちらかといえば好ましくない」を合わせた《好ましくない》が多くなっている。

上段：人数 下段：%	①好ましい	②どちらか といえば好 ましい	③どちらか といえば好 ましくない	④好ましく ない	⑤どちらと もいえない	※無回答
①20代 (n=43)	2 4.7%	6 14.0%	5 11.6%	16 37.2%	13 30.2%	1 2.3%
②30代 (n=69)	2 2.9%	12 17.4%	19 27.5%	16 23.2%	20 29.0%	0 0.0%
③40代 (n=95)	4 4.2%	18 18.9%	21 22.1%	21 22.1%	31 32.6%	0 0.0%
④50代 (n=75)	1 1.3%	18 24.0%	18 24.0%	13 17.3%	25 33.3%	0 0.0%
⑤60代 (n=88)	4 4.5%	21 23.9%	13 14.8%	17 19.3%	33 37.5%	0 0.0%
⑥70代～ (n=50)	7 14.0%	7 14.0%	8 16.0%	4 8.0%	24 48.0%	0 0.0%
※無回答 (n=1)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
全体 (n=421)	20 4.8%	82 19.5%	84 20.0%	87 20.7%	146 34.7%	2 0.5%

③(Q10「地域に外国人が増えることについて」× Q6「外国人との交流頻度」)

○全ての年代で「どちらともいえない」が多くなっている。

外国人が増えることについて「好ましい」、「どちらかといえば好ましい」を合わせた《好ましい》の割合は、交流頻度が「よくある」、「たまにある」を合わせた《ある》層では63.5% (37人) となっている。

一方で、交流頻度が「あまりない」、「全くない」を合わせた《ない》層では44.4% (65人) となっている。

上段：人数 下段：%	①好ましい	②どちらか といえば好 ましい	③どちらか といえば好 ましくない	④好ましく ない	⑤どちらと もいえない	※無回答
①交流がよくある (n=29)	3 10.3%	6 20.7%	6 20.7%	2 6.9%	12 41.4%	0 0.0%
②交流がたまにある (n=86)	7 8.1%	21 24.4%	13 15.1%	20 23.3%	25 29.1%	0 0.0%
③交流があまりない (n=114)	6 5.3%	23 20.2%	25 21.9%	22 19.3%	38 33.3%	0 0.0%
④交流が全くない (n=190)	4 2.1%	32 16.8%	40 21.1%	42 22.1%	71 37.4%	1 0.5%
※無回答 (n=2)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%
全体 (n=421)	20 4.8%	82 19.5%	84 20.0%	87 20.7%	146 34.7%	2 0.5%

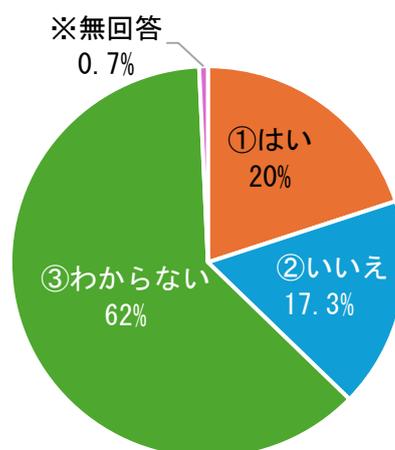
Q11 福島県は外国人にとって暮らしやすいと思いますか。

○「わからない」が62.0% (261人) となっている。

(1) 全体

n = 421

暮らしやすいか	人数 (人)	割合 (%)
①はい	84	20.0
②いいえ	73	17.3
③わからない	261	62.0
※無回答	3	0.7



■①はい ■②いいえ ■③わからない ■※無回答

(2) クロス集計

① (Q11「外国人にとって暮らしやすいか」 × Q1「地域」)

○全ての地域で「わからない」が最も多くなっている。県南が「はい」、相双が「いいえ」と回答した割合がやや高くなっている。

上段：人数 下段：%	①はい	②いいえ	③わからない	※無回答
県北 (n=125)	23 18.4%	22 17.6%	80 64.0%	0 0.0%
県中 (n=116)	25 21.6%	17 14.7%	73 62.9%	1 0.9%
県南 (n=39)	13 33.3%	4 10.3%	22 56.4%	0 0.0%
会津 (n=45)	7 15.6%	10 22.2%	28 62.2%	0 0.0%
南会津 (n=7)	1 14.3%	1 14.3%	5 71.4%	0 0.0%
相双 (n=32)	3 9.4%	9 28.1%	19 59.4%	1 3.1%
いわき (n=54)	12 22.2%	10 18.5%	32 59.3%	0 0.0%
※無回答 (n=3)	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%
全体 (n=421)	84 20.0%	73 17.3%	261 62.0%	3 0.7%

② (Q11「外国人にとって暮らしやすいか」 × Q3「年代」)

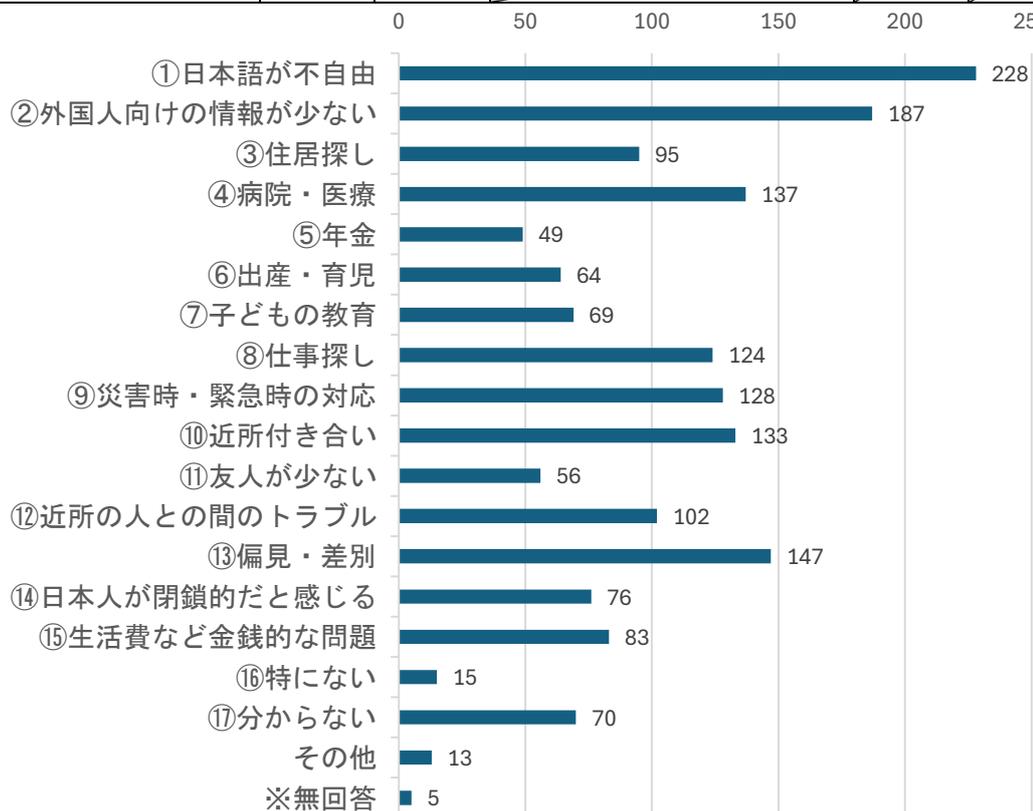
○全ての年代で「わからない」が最も多くなっている。60代が「はい」、20代が「いいえ」と回答した割合がやや高くなっている。

上段：人数 下段：%	①はい	②いいえ	③わからない	※無回答
①20代 (n=43)	8 18.6%	10 23.3%	24 55.8%	1 2.3%
②30代 (n=69)	16 23.2%	13 18.8%	40 58.0%	0 0.0%
③40代 (n=95)	13 13.7%	19 20.0%	63 66.3%	0 0.0%
④50代 (n=75)	15 20.0%	14 18.7%	45 60.0%	1 1.3%
⑤60代 (n=88)	24 27.3%	12 13.6%	52 59.1%	0 0.0%
⑥70代～ (n=50)	8 16.0%	5 10.0%	37 74.0%	0 0.0%
※無回答 (n=1)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
全体 (n=421)	84 20.0%	73 17.3%	261 62.0%	3 0.7%

Q12 あなたは、外国人にとって、生活で困っていること、不満なことは何だと思えますか。(あてはまるもの全てに○)

○「日本語が不自由」が54.2% (228人) と最も多くなっている。次いで、「外国人向けの情報が少ない」44.4% (187人)、「偏見・差別」34.9% (147人)、「病院・医療」32.5% (137人) となっている。 n = 421

生活で困っていること	人数 (人)	割合 (%)	生活で困っていること	人数 (人)	割合 (%)
①日本語が不自由	228	54.2	⑪友人が少ない	56	13.3
②外国人向けの情報が少ない	187	44.4	⑫近所の人との間のトラブル	102	24.2
③住居探し	95	22.6	⑬偏見・差別	147	34.9
④病院・医療	137	32.5	⑭日本人が閉鎖的だと感じる	76	18.1
⑤年金	49	11.6	⑮生活費など金銭的な問題	83	19.7
⑥出産・育児	64	15.2	⑯特にない	15	3.6
⑦子どもの教育	69	16.4	⑰分からない	70	16.6
⑧仕事探し	124	29.5	その他	13	3.1
⑨災害時・緊急時の対応	128	30.4	※無回答	5	1.2
⑩近所付き合い	133	31.6			



Q13-1 お住まいの地域に外国人が増えることへの影響について、どう思いますか。以下の考え方それぞれについてお答えください。(それぞれ1つに○)

○「そう思う」、「少しそう思う」を合わせた《そう思う》が全ての項目で多くなっている。《そう思う》は「外国のことについて関心を持つようになる」が66.0% (278人)、「外国の言葉や文化等を知る機会が増える」が63.1% (266人) となっている。

一方、「文化・習慣の違いによるトラブルが生じる」が82.5% (347人)、「言葉の壁によるトラブルが生じる」が78.1% (329人) となっている。

上段：人数 下段：%	そう 思う	少 思し う そう	うあ 思ま わり なそ い	そ な い 思 わ	もど い ち え ら な と	※ 無 回 答
①外国の言葉や文化等を知る機会が増える	113 26.8%	153 36.3%	75 17.8%	61 14.5%	15 3.6%	4 1.0%
②文化・習慣の違いによるトラブルが生じる	172 40.9%	175 41.6%	49 11.6%	13 3.1%	8 1.9%	4 1.0%
③外国のことについて関心を持つようになる	104 24.7%	174 41.3%	77 18.3%	52 12.4%	11 2.6%	3 0.7%
④言葉の壁によるトラブルが生じる	163 38.7%	166 39.4%	66 15.7%	14 3.3%	9 2.1%	3 0.7%
⑤社会に多様性が生まれる	100 23.8%	157 37.3%	83 19.7%	62 14.7%	14 3.3%	5 1.2%
⑥外国人が特定の場所に集住する	159 37.8%	147 34.9%	73 17.3%	19 4.5%	17 4.0%	6 1.4%
⑦労働者不足の解消につながる	88 20.9%	165 39.2%	73 17.3%	74 17.6%	16 3.8%	5 1.2%
⑧外国人向けサービス(多言語対応等)や教育など、社会的負担が増える	134 31.8%	166 39.4%	77 18.3%	20 4.8%	19 4.5%	5 1.2%
⑨異文化に対する偏見がなくなることにつながる	72 17.1%	148 35.2%	87 20.7%	84 20.0%	23 5.5%	7 1.7%

Q13-2 続いて、次の考え方についてはいかがですか。(それぞれ1つに○)

○「そう思う」、「少しそう思う」を合わせた《そう思う》は、「緊急時や災害時における地域活動でトラブルが起きないか不安を感じる」が74.6% (314人)、「具体的な心配事はないが外国人住民が増えることに漠然とした不安を感じる」が65.1% (274人)、「地域の環境に悪い影響があると思う」が62.2% (262人)、「地域で他の国籍の人たちと交流できる機会が増える」が60.9% (256人)となっている。

一方で、「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた《そう思わない》は、「少子高齢化を部分的に緩和できる」が60.8% (256人)、「日本人の働き先や仕事が減る」が58.9% (248人)となっている。

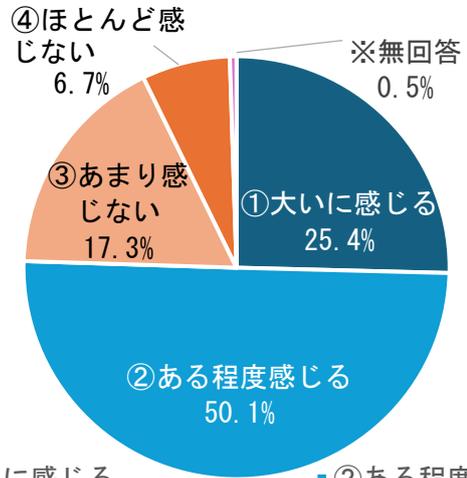
上段：人数 下段：%	そう 思う	少 し 思 う そ う	う あ ま り 思 わ な い	そ う 思 わ な い	も ど い ち え ら な い	※ 無 回 答
⑩緊急時や災害時における地域活動でトラブルが起きないか不安を感じる	132 31.4%	182 43.2%	79 18.8%	13 3.1%	10 2.4%	5 1.2%
⑪地域の活性化につながる	66 15.7%	132 31.4%	135 32.1%	71 16.9%	12 2.9%	5 1.2%
⑫日本人の働き先や仕事が減る	68 16.2%	82 19.5%	192 45.6%	56 13.3%	17 4.0%	6 1.4%
⑬少子高齢化を部分的に緩和できる	26 6.2%	113 26.8%	145 34.4%	111 26.4%	22 5.2%	4 1.0%
⑭日本の文化が変わる	107 25.4%	102 24.2%	132 31.4%	59 14.0%	17 4.0%	4 1.0%
⑮地域で他の国籍の人たちと交流できる機会が増える	76 18.1%	180 42.8%	85 20.2%	55 13.1%	18 4.3%	7 1.7%
⑯地域の環境(治安、風紀等)に悪い影響があると思う	133 31.6%	129 30.6%	99 23.5%	31 7.4%	24 5.7%	5 1.2%
⑰具体的な心配事はないが、外国人住民が増えることに漠然とした不安を感じる	127 30.2%	147 34.9%	87 20.7%	31 7.4%	22 5.2%	7 1.7%

Q14 あなたは最近、身の回りに働いている外国人が増加してきていると感じますか。

○「大いに感じる」、「ある程度感じる」を合わせた《感じる》が75.5%（318人）となっている。

n = 421

外国人の増加について	人数 (人)	割合 (%)
①大いに感じる	107	25.4
②ある程度感じる	211	50.1
③あまり感じない	73	17.3
④ほとんど感じない	28	6.7
※無回答	2	0.5



- ①大いに感じる
- ②ある程度感じる
- ③あまり感じない
- ④ほとんど感じない
- ※無回答

Q15 外国人労働者を受け入れるにあたって、外国人労働者に求めるものとして重要なものは何だと思えますか。（あてはまるもの全てに○）

○「日本文化に対する理解」が81.2%（342人）と最も多く、次いで、「日本語能力」62.9%（265人）となっている。

n = 421

外国人労働者に求めるもの	人数 (人)	割合 (%)
①日本語能力	265	62.9
②日本文化に対する理解	342	81.2
③専門的な技術、技能、知識	112	26.6
④健康で働く意欲を持っていること	167	39.7
⑤労働者が不足している職で働くこと	59	14.0
⑥特にない	10	2.4
⑦分からない	9	2.1
その他	27	6.4
※無回答	3	0.7

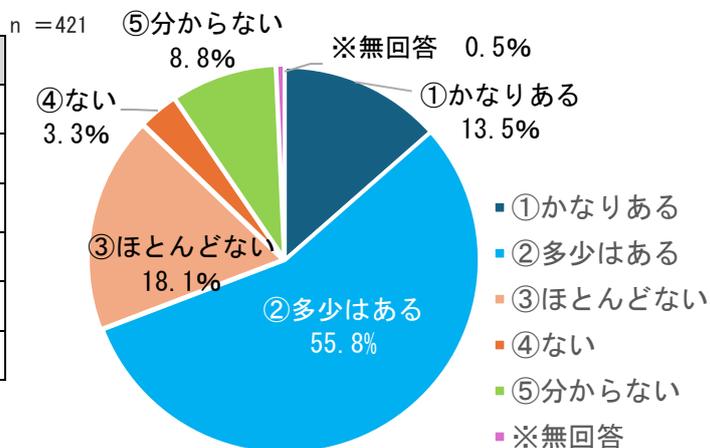


Ⅲ 偏見・差別について

Q16 日本人から外国人に対する偏見や差別はありますか。

○「かなりある」「多少はある」を合わせた《ある》は、69.3% (292人) となっている。

差別や偏見について	人数 (人)	割合 (%)
①かなりある	57	13.5
②多少はある	235	55.8
③ほとんどない	76	18.1
④ない	14	3.3
⑤分からない	37	8.8
※無回答	2	0.5



(2) クロス集計

(Q16「日本人から外国人に偏見や差別はあるか」× Q6「交流頻度」)

○「かなりある」「多少はある」を合わせた《ある》は、外国人との交流が「よくある」で93.1% (27人) と最も高くなっている。次いで、「あまりない」73.7% (84人)、「たまにある」69.8% (60人) となっている。

上段：人数 下段：%	①かなりある	②多少はある	③ほとんどない	④ない	⑤分からない	※無回答
①よくある (n=43)	9 31.0%	18 62.1%	2 6.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②たまにある (n=69)	9 10.5%	51 59.3%	20 23.3%	0 0.0%	4 4.7%	0 0.0%
③あまりない (n=95)	14 12.3%	70 61.4%	16 14.0%	6 5.3%	7 6.1%	1 0.9%
④全くない (n=75)	25 13.2%	96 50.5%	36 18.9%	6 3.2%	26 13.7%	1 0.5%
※無回答 (n=1)	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
全体 (n=421)	57 13.5%	235 55.8%	76 18.1%	14 3.3%	37 8.8%	2 0.5%

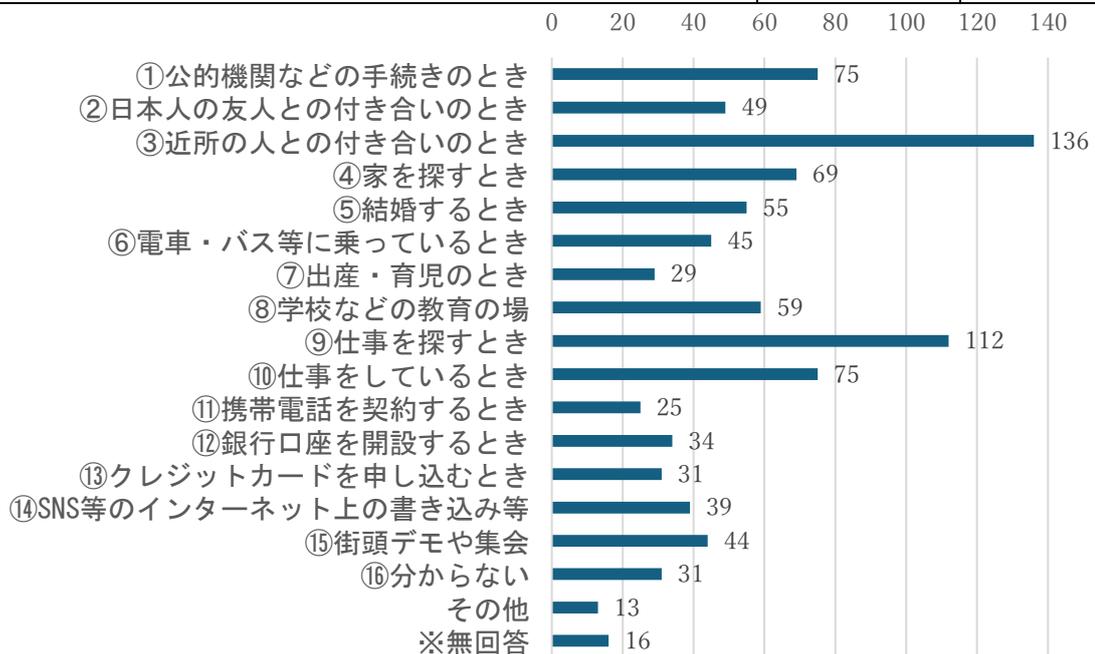
Q17 偏見や差別はどのような場合にあると思いますか。(あてはまるもの全てに○)

【Q16で「①かなりある」「②多少はある」のいずれかを選択された方】

○「近所の人との付き合いのとき」が46.6% (136人) と最も多くなっている。次いで、「仕事を探すとき」が38.4% (112人) となっている。

n =292

偏見や差別がどのような場合にあるか	人数 (人)	割合 (%)
①公的機関(市区町村・都道府県・国)などの手続きのとき	75	25.7
②日本人の友人との付き合いのとき	49	16.8
③近所の人との付き合いのとき	136	46.6
④家を探すとき	69	23.6
⑤結婚するとき	55	18.8
⑥電車・バス等に乗っているとき	45	15.4
⑦出産・育児のとき	29	9.9
⑧学校などの教育の場	59	20.2
⑨仕事を探すとき	112	38.4
⑩仕事をしているとき	75	25.7
⑪携帯電話を契約するとき	25	8.6
⑫銀行口座を開設するとき	34	11.6
⑬クレジットカードを申し込むとき	31	10.6
⑭SNS等のインターネット上の書き込み等	39	13.4
⑮街頭デモや集会	44	15.1
⑯分からない	31	10.6
その他	13	4.5
※無回答	16	5.5

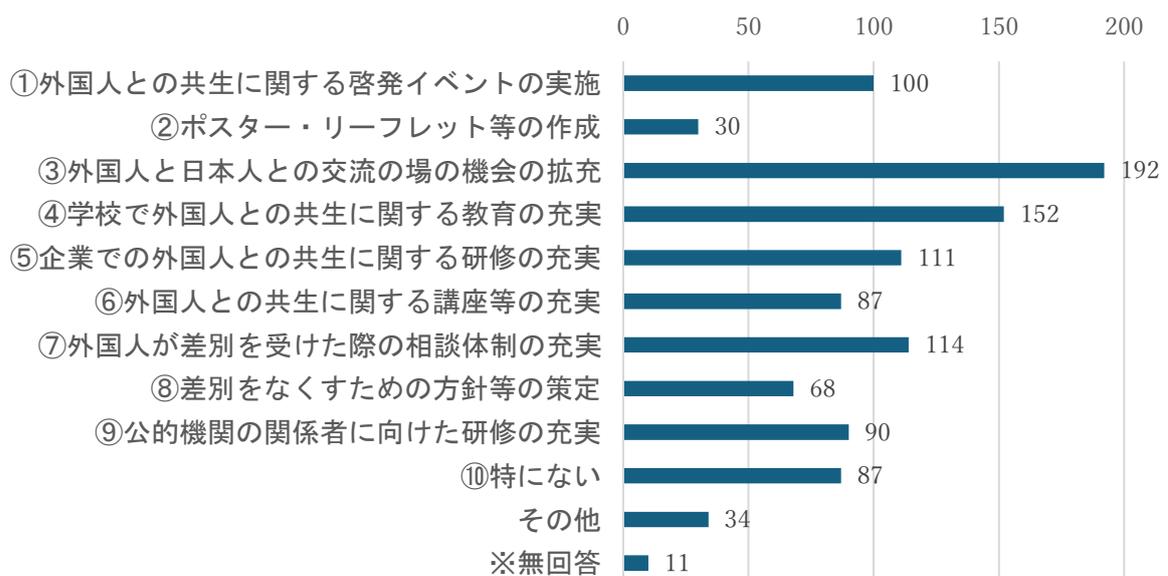


Q18 あなたは、偏見や差別をなくし、人権を守るためにどのような取組や活動があるとよいと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

○「外国人と日本人との交流の場の機会を増やす」が45.6%（192人）と最も多くなっている。次いで、「学校で外国人との共生に関する教育を充実させる」が36.1%（152人）、「外国人が差別を受けた際の相談体制を充実させる」が27.1%（114人）、「企業における外国人との共生に関する研修を充実させる」が26.4%（111人）となっている。

n = 421

人権を守るために必要な取組や活動	人数（人）	割合（％）
①外国人との共生に関する啓発イベントを実施する	100	23.8
②ポスター・リーフレット・動画コンテンツを作成する	30	7.1
③外国人と日本人との交流の場の機会を増やす	192	45.6
④学校で外国人との共生に関する教育を充実させる	152	36.1
⑤企業における外国人との共生に関する研修を充実させる	111	26.4
⑥外国人との共生に関する講座等の社会教育を充実させる	87	20.7
⑦外国人が差別を受けた際の相談体制を充実させる	114	27.1
⑧差別をなくすための方針等を策定する	68	16.2
⑨公的機関の関係者に向けた研修を充実させる	90	21.4
⑩特にない	87	20.7
その他	34	8.1
※無回答	11	2.6



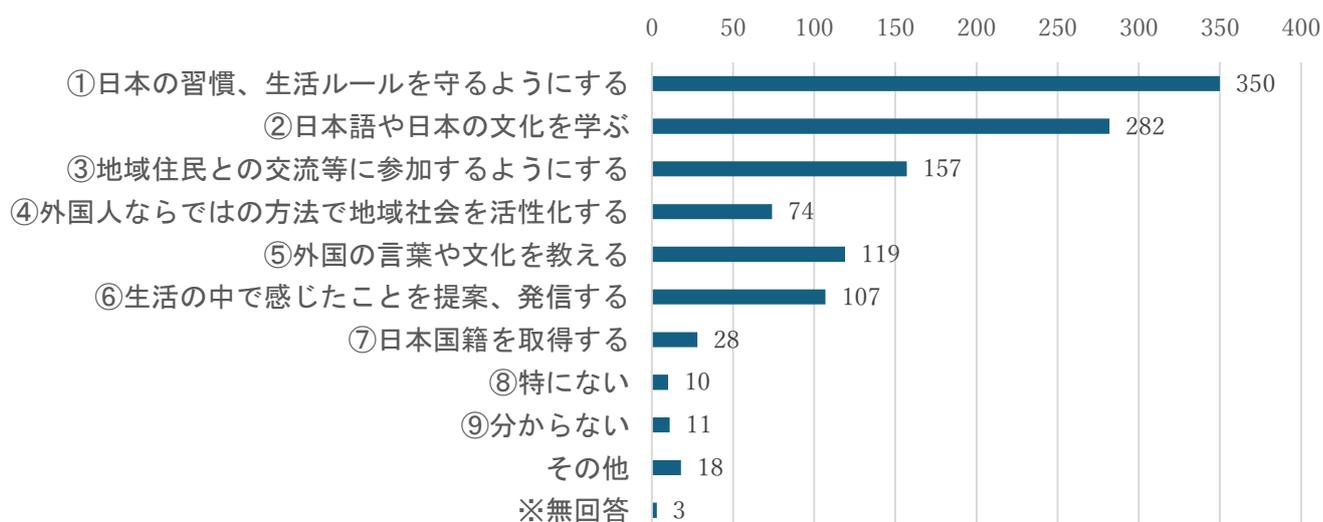
IV 外国人との共生社会について

Q19 多文化共生社会実現のため、外国人には何をして欲しいと思いますか。
(あてはまるもの全てに○)

○「日本の習慣、生活ルールを守るようにする」が83.1% (350人)と最も多くなっている。次いで、「日本語や日本の文化を学ぶ」67.0% (282人)、「地域住民との交流や地域の活動に参加するようにする」37.3% (157人)、「外国の言葉や文化を教える」28.3% (119人)、「生活の中で感じたことを提案、発信する」25.4% (107人)となっている。

n = 421

外国人に希望すること	人数 (人)	割合 (%)
①日本の習慣、生活ルールを守るようにする	350	83.1
②日本語や日本の文化を学ぶ	282	67.0
③地域住民との交流や地域の活動に参加するようにする	157	37.3
④外国人ならではの方法で地域社会を活性化する	74	17.6
⑤外国の言葉や文化を教える	119	28.3
⑥生活の中で感じたことを提案、発信する	107	25.4
⑦日本国籍を取得する	28	6.7
⑧特にない	10	2.4
⑨分からない	11	2.6
その他	18	4.3
※無回答	3	0.7



Q20 あなたが参加できる取組として、以下の取組に対するあなたの考えと、その課題を選んでください。

(1) 取組に対する考え (それぞれ1つに○)

○「取り組んでいる」は、「日常から、身近な外国人とあいさつをするなど言葉を交わす」が21.6% (91人)、「外国人とコミュニケーションをとる際、「やさしい日本語」など相手が理解しやすい言葉を使うよう心掛ける」19.2% (81人) となっている。

「取り組みたい」は、「外国の文化、習慣を学ぶ」が61.8% (260人)、次いで、「外国人とコミュニケーションをとる際、「やさしい日本語」など相手が理解しやすい言葉を使うよう心掛ける」60.8% (256人)、「日本語や日本文化の多様性を学ぶ」60.1% (253人) となっている。

一方で、「取り組みたくない」は「日本語教師や通訳者として活動する」が63.7% (268人)、「職場などで外国人への理解を促進するための行事や研修を企画する」48.7% (205人) となっている。

n = 421

上段：人数 下段：%	取り組んでいる	取り組みたい	取り組みたくない	※無回答
①日常から、身近な外国人とあいさつをするなど言葉を交わす	91 21.6%	247 58.7%	70 16.6%	13 3.1%
②外国人との交流会などの国際交流・多文化共生イベントに参加する	9 2.1%	213 50.6%	186 44.2%	13 3.1%
③地域で行われるお祭りや行事などに外国人を誘う	21 5.0%	231 54.9%	151 35.9%	18 4.3%
④外国の文化、習慣を学ぶ	44 10.5%	260 61.8%	103 24.5%	14 3.3%
⑤外国語を学ぶ	48 11.4%	250 59.4%	110 26.1%	13 3.1%
⑥日本語教師や通訳者として活動する	8 1.9%	125 29.7%	268 63.7%	20 4.8%
⑦日本語や日本の習慣を外国人に紹介する	16 3.8%	209 49.6%	175 41.6%	21 5.0%
⑧外国人とコミュニケーションをとる際、「やさしい日本語」などの相手が理解しやすい言葉を使うよう心掛ける	81 19.2%	256 60.8%	73 17.3%	11 2.6%
⑨職場などで外国人への理解を促進するための行事や研修を企画する	13 3.1%	179 42.5%	205 48.7%	24 5.7%
⑩外国人に対する差別の問題について家族や友人と話す	32 7.6%	226 53.7%	140 33.3%	23 5.5%
⑪日本語や日本文化の多様性を学ぶ	36 8.6%	253 60.1%	108 25.7%	24 5.7%
⑫日本で生活するルールを守るように外国人住民に呼びかける	42 10.0%	232 55.1%	126 29.9%	21 5.0%
⑬知り合った外国人との私的な交流を広げる	31 7.4%	236 56.1%	131 31.1%	23 5.5%
⑭外国人との交流で感じたことを提案、SNS等で発信する	8 1.9%	134 31.8%	258 61.3%	21 5.0%

(2) 取り組む上での課題（あてはまるもの全てに○）

○全ての取り組みで「場がない」が最も多くなっており、「日常から、身近な外国人とあいさつをするなど言葉を交わす」が55.1%（232人）、「外国人との交流会などの国際交流・多文化共生イベントに参加する」と「外国の文化、習慣を学ぶ」45.4%（191人）となっている。

「地域で行われるお祭りや行事などに外国人を誘う」の課題では24.9%（105人）が「仲間がいない」となっており、「外国語を学ぶ」の課題では「時間がない」が他の項目より多くなっている。

n = 421

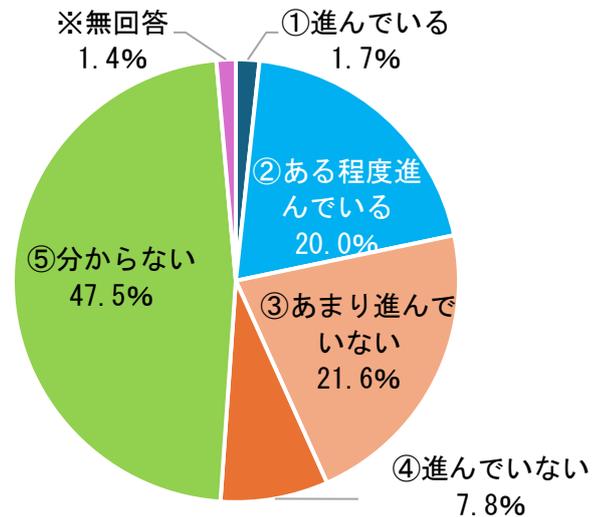
上段：人数 下段：%	仲間が いない	場がない	お金が ない	時間が ない	特 にない	その他	※無回答
①日常から、身近な外国人とあいさつをするなど言葉を交わす	74 17.6%	232 55.1%	16 3.8%	44 10.5%	101 24.0%	13 3.1%	28 6.7%
②外国人との交流会などの国際交流・多文化共生イベントに参加する	77 18.3%	191 45.4%	31 7.4%	114 27.1%	78 18.5%	18 4.3%	26 6.2%
③地域で行われるお祭りや行事などに外国人を誘う	105 24.9%	181 43.0%	26 6.2%	69 16.4%	85 20.2%	17 4.0%	26 6.2%
④外国の文化、習慣を学ぶ	58 13.8%	191 45.4%	29 6.9%	103 24.5%	81 19.2%	15 3.6%	31 7.4%
⑤外国語を学ぶ	42 10.0%	141 33.5%	55 13.1%	129 30.6%	86 20.4%	16 3.8%	36 8.6%
⑥日本語教師や通訳者として活動する	46 10.9%	141 33.5%	36 8.6%	121 28.7%	96 22.8%	29 6.9%	44 10.5%
⑦日本語や日本の習慣を外国人に紹介する	59 14.0%	175 41.6%	18 4.3%	92 21.9%	97 23.0%	19 4.5%	42 10.0%
⑧外国人とのコミュニケーションをとる際、「やさしい日本語」などの相手が理解しやすい言葉を使うように心掛ける	58 13.8%	173 41.1%	19 4.5%	62 14.7%	108 25.7%	19 4.5%	42 10.0%
⑨職場などで外国人への理解を促進するための行事や研修を企画する	53 12.6%	169 40.1%	29 6.9%	82 19.5%	95 22.6%	28 6.7%	40 9.5%
⑩外国人に対する差別の問題について家族や友人と話す	49 11.6%	127 30.2%	20 4.8%	76 18.1%	124 29.5%	30 7.1%	49 11.6%
⑪日本語や日本文化の多様性を学ぶ	44 10.5%	159 37.8%	33 7.8%	86 20.4%	106 25.2%	19 4.5%	46 10.9%
⑫日本で生活するルールを守るように外国人住民に呼びかける	67 15.9%	183 43.5%	19 4.5%	64 15.2%	93 22.1%	20 4.8%	48 11.4%
⑬知り合った外国人との私的な交流を広げる	72 17.1%	171 40.6%	23 5.5%	64 15.2%	95 22.6%	19 4.5%	45 10.7%
⑭外国人との交流で感じたことを提案、SNS等で発信する	53 12.6%	140 33.3%	24 5.7%	73 17.3%	113 26.8%	36 8.6%	46 10.9%

Q21 福島県の外国人を受け入れる環境整備の現状をどのように考えますか。

○「分からない」が47.5%（200人）と最も多くなっている。「進んでいる」、「ある程度進んでいる」を合わせた《進んでいる》は、21.7%（91人）となっている一方、「あまり進んでいない」、「進んでいない」を合わせた《進んでいない》は、29.4%（124人）となっている。

n = 421

環境整備	人数(人)	割合(%)
①進んでいる	7	1.7
②ある程度進んでいる	84	20.0
③あまり進んでいない	91	21.6
④進んでいない	33	7.8
⑤分からない	200	47.5
※無回答	6	1.4



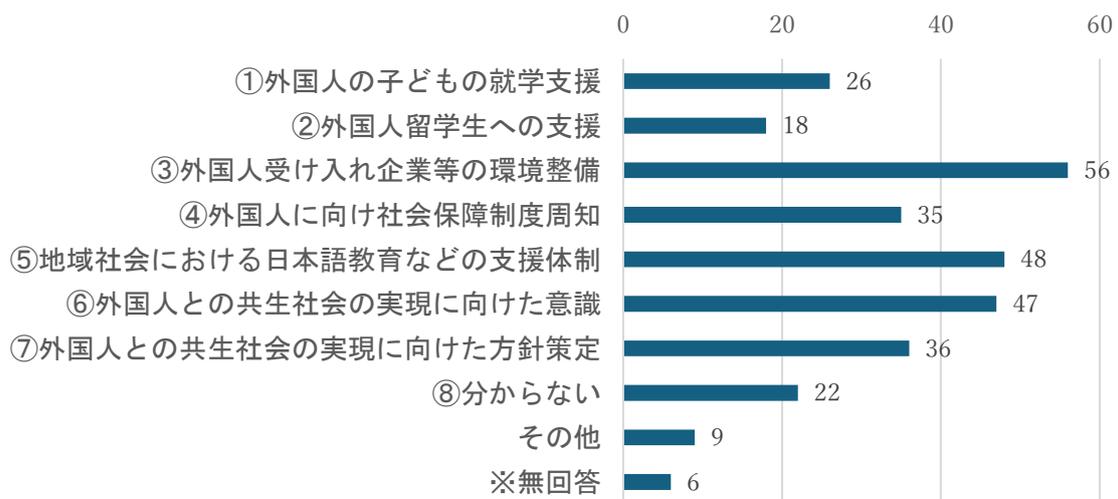
- ①進んでいる
- ②ある程度進んでいる
- ③あまり進んでいない
- ④進んでいない
- ⑤分からない
- ※無回答

Q22 どのような部分が進んでいないと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

【Q21で「③あまり進んでいない」「④進んでいない」のいずれかを選択された方】

○「外国人を受け入れる企業等の環境整備」が45.2% (56人)と最も多くなっている。次いで、「地域社会における日本語教育、通訳の配置、外国人向け相談窓口などの支援体制」38.7% (48人)、「外国人との共生社会に向けた意識」37.9% (47人)となっている。 n = 124

受入れ環境が進んでいない点	人数 (人)	割合 (%)
①外国人の子どもの就学支援	26	21.0
②外国人留学生への支援	18	14.5
③外国人を受け入れる企業等の環境整備	56	45.2
④外国人に向けた社会保障制度(年金・医療・介護等)の制度周知	35	28.2
⑤地域社会における日本語教育、通訳の配置、外国人向け相談窓口などの支援体制	48	38.7
⑥外国人との共生社会の実現に向けた意識	47	37.9
⑦外国人との共生社会の実現に向けた方針策定	36	29.0
⑧分からない	22	17.7
その他	9	7.3
※無回答	6	4.8



Q23 最後に、多文化共生に関して何かご意見があればご自由にお書きください

<主な回答>

○感想全般

- ・行政の外国人受け入れ体制を確立しなくてはいけないと思う。外国のこと、日本のことを互いに知ることができればとてもいい関係を築くことができるのではないかと思う。
- ・外国人共生についてどの機関がリーダーシップを取るのかもはっきりしないと意見も言えないし、普段の生活ではそれがわからない。もっと県民の目に触れる所に情報があると良い。
- ・県と市町村は主体性を持って、連携して欲しい。
- ・日本のことを理解して、地域に溶け込んで頂きたい。まずは誰が教えるか。
- ・日本に来て、頑張っ生きていこうとしている人たちには正しい対応をして欲しい。
- ・必要な事と思うが身近に接する機会がないのであまり関心を持たない。
- ・人口減少、少子高齢化が進む中、多文化共生が大切な要素になると思う。

○日本語・日本文化に関すること

- ・日本文化は受け入れて欲しいし、尊重していただきたい。日本の文化や習慣を知り、それを守ってくれる方なら受け入れたい。
- ・日本語をきちんと話せることを受け入れの条件にして欲しい。なぜなら、日本文化をある程度理解し、日本社会に馴染み、調和の取れた「共生」が出来る。
- ・お互いの国の文化や習慣を学び、理解した上で歩み寄れる部分とそうでない部分が出てくると思うので、そういった点の解決を先ずしないと生活や仕事に支障をきたすのではないかと思う。みんながみんな理解して歩み寄るのも難しいと思うし、人それぞれ考え方が違うのは外国人相手に限った事ではないが、文化や習慣が違うと問題は増えると思う。

○交流に関すること

- ・海外の食生活をきっかけにコミュニケーションを取れる場が欲しい。
- ・日本の祭りに参加する場合は、にぎやかに騒ぐだけでなく意味、由来も学習して取り組んで欲しい。

○生活に関すること、その他

- ・住む前に地域のルールやマナーを十分に理解してもらい取り組みを自治体や受け入れ企業の方にしてもらいたい。
- ・自国の宗教やルールを押し通すような外国人が増えることには不安がある。
- ・仕事柄外国人が運転免許を取得し、運転することについて心配であり、不安である。言葉の関係から教習が甘くなってしまっているように感じている。
- ・外国人も日本で働くなら安い賃金でなく、日本人と同額に。でない日本人の雇用が減るのではないかと心配している。境遇は全て同じにすべき。

(相互理解)

- ・外国人の共生を考えるのであれば、私たちが相手の伝統、宗教を知らなければならぬ。現に受け入れている人たちは、イスラム教、キリスト教などの一神教である。その人たちの葬儀、土葬、火葬は行えるのか。食材は買えるのか心配。
- ・今後外国人との共生が必要になるので、偏見や差別がなくなる社会になればよいと思う。

(多言語)

- ・年金、税金、給付などのお知らせが日本語で届くので内容が理解できない外国人がいる。母国語に変換した文書を送ってあげて欲しい。

(教育)

- ・日本人に対しての教育も必要だと感じる。
- ・小学生も第2、第3の言語習得に努める時代がきているのではないか。教育現場にも広め、関わる必要がある。
- ・義務教育から多文化共生について学習すべきだと思う。保護者と一緒のイベントを行うと家族で考えるきっかけになると思う。